

議員 埼京線の増発と、通勤快速の戸田公園駅停車及び定時運行の確保を、JRに強く要望を。

総合政策部長 運行本数の増発と、平日夜9時以降の通勤快速の快速への変更を、強力に要望してまいります。

公共施設など生活環境との調和のとれたマンション建設を

議員 マンション急増の弊害をなくし、市民が安心して



▲りんかい線に乗り入れた埼京線

難しい。
②開発協力金は入居者、購入者に跳ね返るので難しい。
③当事者のプライバシーの問題もあるので、協議を義務づけることは出来ないが、申し出があれば、紛争調停委員会での調停を行います。
④相談窓口の設置は、法律、建築、設備、会計・経理等の専門性が幅広く求められることから、マンション管理士会などの専門的な団体を紹介する形で対応していきたい。

集中豪雨対策について

議員 葛蒲川へ毎秒2・55立方メートルの排水で県の認可を得ているが、施設をどこに設置するか、県と協議中であるとのことであったが、その結果は。

都市整備部長

河川管理者の県と協議を重ね、14年12月2日、川岸橋と戸二小の2カ所に排水ポンプを設置することで合意しました。

通勤快速の戸田公園駅停車を

望月 久晴 議員

て住める戸田市にするため
①マンション建設戸数を行う政指導で制限を。
②学校建設や保育園の増設など、市の財政負担が増大しているため、一定規模のマンション建設には開発協力金の徴収を。
③マンション建設に当たって、周辺住民が開発業者と十分な協議が出来るように、条例で、業者に話し合いの義務化を。
④マンション大規模改修などの相談窓口を、市に設置すべきでは。

議員 医療相談窓口の設置を。

医療保健センター事務長 検討します。相談が多種多様なため、体制や場所など、十分に研究したい。

議員 「公的医療検討委員会」の提言内容を市民に公表し、医療の充実を進める機関の設置を。

総合政策部長 特に組織は作りませんが、医療保健センターなどを担当として、

医療施策の充実へ 第一歩を

岡寄 郁子 議員

状況もありま
②十分
ではな
いが、
足りる
見込み
です。



▲気軽にご相談ください

福祉部長 ①支援費アドバイザーを心身障害者福祉センターにも設け、常時、相談体制をとっています。
障害者手帳保持者にパンフレットの送付、説明会を行っています。11月には施設入所者に聞き取り調査を行っています。
支援費の額や個人負担など、国がまだ基準を示していないため、苦慮している状況も

議員 ①準備状況は。
②制度の説明と申請受付のため、十分な職員体制がないか、点検を。
③不足しているサービスがないか、点検を。
④条例化と、障害者の権利を守る制度づくりを。

市民参加とパートナーシップの推進について

議員 市民参加条例を制定し、市民参加の促進を。

市長

条例は、情報の共有化、まちづくりにおける行政・事業者・市民の役割などを明確にするものと認識しています。
将来的には憲法的な条例をつくりたいと思いますが、市民の意識を高めることに、もう少し時間をかけたいと考えています。

花井 伸子 議員

学童保育事業の充実はかれ

議員 ①来年度の入室見込み数とその対応について。
②一日保育の入室基準を4年生以上に拡大してはどうか。

教育長

①一部の保育室では定員を超える保育室もあると思いますが、入所選考も視野に入れて検討し、極端に希望の多い一部の保育室については、空き教室や施設の増築を視野に入れて対応します。
②難しい状況ですが、どうしたら対象学年を拡大でき



▲新首北小学校学童保育室

るか、という視点で検討してまいります。
特別支援教育の充実について
議員 文部科学省の特別支援教育のあり方に関する調査協力者会議の中間まとめでは、LD、ADHD等情緒に障害を持つ子ども達を含めた体制整備を行うよう求めているが、現在の状況と、今後の取り組みは。

害児教育研究会が共催で研修会を行い、支援・理解と対処方法について深めています。
本年度は県立総合センターで行われる「LD・ADHD指導者養成講座」に障害教育担当教員を参加させています。終了後は指導者として育成するとともに、全教職員への周知徹底、児童生徒の実態把握を行います。
通級指導教室の設置についても、検討を進めております。

学校給食の改善を

議員 食物資購入委員会に学校・PTAの代表を加えては。

教育長

3学期中に校長会代表・保護者代表にも出席いただき、来年度から本格実施を検討しています。

庄司 慎 議員

ピッキング対策として 施錠交換に市の助成を

関の鍵を交換したり、補助鍵を取り付けた市民に対し、5000円の補助制度を実施している。
本市でも導入すべきではないか。

市民生活部長

欧米並みの犯罪から身を守るのは自分自身であることを自覚していただき、犯罪を予防するには、地域住民の目が大切であり、巡回活動が重要であり、積極的な支援・推進をしてまいります。

道満のローラーやスケボー等の施設整備を

議員 本市の町の中にある公園は、幼児や低学年用の公園として整備されており、青少年が気兼ねせず、自由にローラーやスケボーの出来るところと云えば道満しかなく、公園整備と専用施設を求めることと三度目になるが、時代の流れと青少年の要望は根

強いものがある。
ローラースケート場の本来の姿に戻し、ジョギング周回コースの整備を行う必要があると思うがどうか。
都市整備部長 ローラースケート場として、昭和58年から整備してきましたが、不法ローリング族対策として、ガードパイプを設置し、閉鎖した。今後も、多目的広場として整備したい。
周回ジョギングコースも、アスファルト舗装は劣化してきているので、計画的に打ち替えを実施したい。



▲道満の多目的広場